

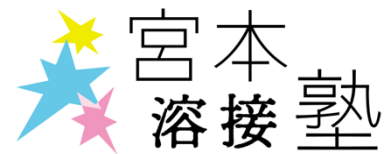
アーク溶接等の業務に係る特別教育（アーク溶接特別教育）

実技カリキュラム

合計10時間

講師： 1～2名

受講者：1～4名



合計時間 10

練習時間 4

	学習内容	詳細	時間数
1	溶接機の取り扱い	溶接機の基本構造、原理の説明	1.5
	安全作業の説明	溶接機の電氣的接続の説明 (アースなど接続の仕方の練習)	
		ガス、レギュレータの取り扱い	
	保護具の着用の仕方	溶接種類に合わせた保護具の選定、着用	
		溶接面の使い方（遮光度設定など）	
2	アークの発生	アーク出しの見本、アーク出し練習	1.5
	溶接ビードの引き方	基本姿勢と運棒の仕方 ストリンガービードの引き方 ウィービングビードの引き方	
3	練習①	ストリンガービード ウィービングビード	1
4	突き合わせ溶接	下向き突き合わせ溶接の引き方 仮止めの仕方 板厚に対する電流など条件設定	1
5	練習②	下向き突き合わせ溶接の練習	1
6	かど溶接、すみ肉溶接	下向きかど溶接とすみ肉溶接の引き方 仮止めの仕方 板厚に対する電流など条件設定	1
7	練習③	下向きかど溶接とすみ肉溶接の練習	1
8	溶接作業のコツ	アーク長の設定 溶接材料の選定方法 溶接品質について	1
9	練習④	総合練習 各継手を自由に復習	1

練習用材料の例

被覆アーク溶接の場合	鉄板 t6×100×200
半自動溶接の場合	鉄板 t6×150×30、 t6×150×40 など
TIG溶接の場合	ステンレス板 t3×150×150
	ステンレス板 t3×150×30など